

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~6日	8月 ~13日	8月 ~20日	8月 ~27日	9月 ~3日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	15	3	14	16 (1)	6
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	14	11	16	14 (1)	13
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	1	1	4	0	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	1	8	1	3 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	2	1	2	6	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	0	1	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第35週(8月28日~9月3日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4	1		1		1		1
三類	3	腸管出血性大腸菌	3					1		2
四類	4	日本紅斑熱	4			1	1		2	
五類	13	アメーバ赤痢	2							2
		ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1					1		
		播種性クリプトコックス症	1			1				
		梅毒	7					6		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり11.50人の報告があり、多い状況が続いています。残暑で体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活や毎日の食事・睡眠など健康管理に気を配り、手洗い、密の回避、換気、マスクの効果的な場面での着用など、基本的な感染対策に、引き続き取り組みましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり1.83人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

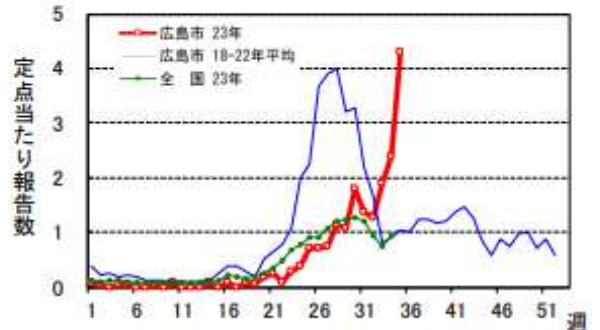
3 手足口病

定点当たり4.29人の報告があり、大きく増加しました。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

4 梅毒

今年の累計は202件となり、非常に多い状況が続いています。

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														↑	↓	
インフル	インフルエンザ	66	1.83	0.05			小児科	ヘルパンギーナ	31	1.29	0.72		▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	414	11.50					流行性耳下腺炎	2	0.08	0.06		▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
小児科	RSウイルス感染症	13	0.54	1.62			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03					ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	11	0.46	0.38				流行性角結膜炎	1	0.13	0.75					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	0.77			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-					
	感染性胃腸炎	62	2.58	3.00				無菌性髄膜炎	-	-	-					
	水痘	3	0.13	0.11				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06					
	手足口病	103	4.29	1.04		▲		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.16				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03					
	突発性発しん	7	0.29	0.43												

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	92	80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	13	10歳未満・O157
5	ウイルス性肝炎	1	6	50歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	8	70歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	4	20歳代
5	梅毒	6	202	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・1人、50歳代・1人